

救急科

診療科・部門案内

～地域の中核病院として最大限救急医療のニーズに応えていく～

当院の救急科は外来診療に専念し入院患者を受け持たない、いわゆるER型救急体制をとっています。入院後は基本的には当該科が診療にあたります。

また当院は、日本救急医学会の※救急科専門医指定施設となっています。

●平成21年度実績

平成21年度は、救急外来患者数24,658人、他医療機関からの紹介2,019人、救急車搬入5,259人、救急外来からの入院4,710人で、当院は、豊能医療圏のなかでは救急受け入れ件数の最も多い病院です。

※救急科専門医指定施設とは：
日本救急医学会では、救急科専門医育成にふさわしい病院または病院の救急部門を「救急科専門医指定施設」として認定する。

認定条件

救急医療活動の実績を有していること。
救急医療に関する教育指導体制がとられていること。
救急医療に必要な診療機器等が整備されていること。
など



当院は二次救急医療施設として、急性冠症候群、急性期脳卒中、急性腹症、消化管出血などの診療に力を入れており、小児科、産婦人科も地域の中核病院として活躍しています。

救急医療の提供は公立病院の重要な責務となっています。今後も地域の救急告示病院と

連携しながら、地域の救急医療の確保に努めます。



なるほど
納得！
豆知識



AED（自動体外式除細動器）とは

AED（Automated External Defibrillator）とは、心室細動（致死的な不整脈）が原因で心臓が止まった人に対し、電気ショックを与え心臓のリズムを元に戻すための医療機器です。平成16年7月よりAEDの使用が医療従事者ではない一般市民にも認められるようになりました。

AEDは、詳しい操作方法を音声ガイドしてくれるため一般市民でも使用できます。

心臓が止まっているかどうかわからない時でも、心臓の動きを自動で診断し、必要な方のみ電気ショックを流す仕組みになっていますので、安心して使用できます。

当院では、AED体験を実施しています。



心室細動による心停止の場合、電気ショックの成功率は1分遅れる毎に7～10%も低下します。

救急車が到着する前にできるだけ早く電気ショックを行うことが重要になります。

